

議会だより ふだい

FUDAI 40

岩手県普代村議会

No. 162

令和5年2月2日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

二十歳、集う



令和5年二十歳のつどい

主な内容

- 12月定例会概要（一般会計補正予算等を審議）…… 2頁～
- 一般質問（7議員が村政を問う）…… 6頁～
- その他・臨時会 …… 13頁～

12月
定例会

地域商品券給付事業第2弾など
2億2168万円を増額！



システム改修によって役場に足を運ばなくても一部申請ができるようになる

一般会計
補正予算

補正予算で
2億1101万円増

▽令和4年度一般会計補正
予算(第8号)
歳入歳出に2億1101
万5千円を増額し、総額で
42億3281万1千円とし
ました。
主な歳入は、ふるさと応
援寄付金8200万円。

村議会第10回定例会(12月定例会)が12月14日~15日まで開
会されました。
内容は、令和4年度の一般会計と5特別会計の補正予算など
12議案が審議され、一般会計では賛成多数で、5特別会計は全
員賛成で原案可決されました。内容は次のとおりです。

主な歳出は、物価高騰対
策地域商品券給付事業37
54万円、戸籍総合システ
ム改修委託料442万2千
円、感染症対策費152万
8千円、さけ稚魚大型・強
靱化支援事業補助金50万円
などが増額されました。

コロナウイルス感染症感染予
防対策用品の抗原検査キッ
ト(無料配布分)を購入す
るもの。

さけ稚魚大型・強靱
化支援事業補助金

戸籍総合システム改修委
託料は、個人番号制度に対
応するためのシステム改修
で、コンビニで各種交付が
受けられるようになるもの。
感染症対策費は、新型コ

秋さけの回帰率低迷によ
り、稚魚の確保ができない
状況にあることから、計画
放流数を確保するため、北
海道や山形県などの県外か
ら稚魚移入をする際の運搬
費の補助。

定例会での質疑

議案第1号
不動産売払収入の経緯は
金子泰男 議員

問 不動産売払収入で、当時必要で購入した土地だったのか伺う。

答 榎屋村長
県道有料道路を跨いでの土地・農地でもあり、取得すれば堆肥盤と繋がって活用できるといった、先々のメリットということで当時意思決定をしたもの。

議案第9号
一部を改正する条例の具体例を
大上浩史 議員

問 職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の具体例を伺う。

答 川向総務課長
定年年齢の延長で60歳から65歳に引き上げる。経過措置を2年に1歳ずつ引き上げていくもので、来年度からの施行となる。

議案第1号
自然公園保護管理・清掃委託の内容は
大上智 議員

問 自然公園保護管理及び清掃の委託先と委託内容は。

答 山崎観光振興室長
国民宿舎くろさき荘に委託しているもので、内容は、黒崎園地内を巡回しての施設の維持管理・清掃・観光案内等である。




国民宿舎くろさき荘が委託を受けている黒崎園地

議案第1号
さけ稚魚大型・強靱化支援事業補助金の中身は
嵯峨典行 議員

問 さけ稚魚大型・強靱化支援事業補助金50万円の中身について伺う。

答 大村建設水産課長
さけの魚卵の確保のため、北海道から卵を確保する事業で運搬に係る経費について3分の1を県、3分の1を増殖協会、残りの3分の1を地元で負担するものである。



さけの遡上が少なくなった普代川河口

定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和4年度 普代村一般会計補正予算（第8号） 補正額2億1101万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を42億3281万1千円とするもの。 歳出の総務費では、物価高騰対策地域商品券給付事業（全村民1人当たり1万5000円分の地域商品券）に係る経費3754万円や、ふるさと納税の返礼品に係る諸経費などの事業費5185万8000円をそれぞれ増額。 衛生費では、感染症対策費で新型コロナウイルスワクチン接種（オミクロン）に係る人件費や、抗原検査キット購入分として、合わせて152万8000円を増額。 水産業費では、秋サケの回帰率低迷による、種卵確保対策のための支援事業補助金（地元負担3分の1）50万円を増額。 土木費では、道路施設補修・補強工事費など791万6000円増額のほか、村政懇談会で要望のあった村道黒崎3号線の道路改良工事発注に向けた測量設計業務委託料281万6000円を増額。 そのほか、各科目において燃料費の高騰による電気料金などの光熱水費を増額。	可決 (賛成多数)
議案第2号	令和4年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 補正額8万円を減額し、歳入歳出予算の総額を4億2788万5千円とするもの。 普代村納税貯蓄組合連合会の解散による補助金の減額。	
議案第3号	令和4年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第5号） 補正額222万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を2億1316万円とするもの。 光熱水費等や人件費の増額。	
議案第4号	令和4年度 普代村簡易水道特別会計補正予算（第4号） 補正額338万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億601万7千円とするもの。 配水池や浄水場の門扉・フェンスの劣化による修繕料、光熱水費の増額。	
議案第5号	令和4年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算（第5号） 補正額533万1千円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億4165万2千円とするもの。 電気料や人件費の増額。	
議案第6号	令和4年度 普代村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第4号） 補正額19万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を3160万円とするもの。 原材料費の購入完了に伴う減額。	
議案第7号	定年前再任用短時間勤務職員の任用に関する条例の制定 職員の定年引き上げに伴うもの。地方公務員法の規定に基づき、上記職員として任用することができる制度の導入により、必要な事項を定めるもの。令和5年4月1日から施行。	可決 (全員賛成)
議案第8号	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定 職員の定年引き上げに伴うもの。地方公務員法の規定に基づき、必要な事項を定めるもの。 令和5年4月1日から施行。	
議案第9号	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例 国の例に準じて、職員の定年引き上げ（経過措置：令和5年～令和13年まで2年ごとに1歳ずつ、65歳まで引き上げ）や、管理監督職務上限年齢による降任等に関し、必要な事項を定める等の所要の改正。令和5年4月1日から施行。	
議案第10号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 職員の定年引き上げに伴うもの。60歳に達した日後における、最初の4月1日以降の職員給与に関する特例を設ける等の所要の改正。令和5年4月1日から施行。	
議案第11号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例 職員の定年引き上げに伴うもの。地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の整備及び廃止、並びに定年退職者等の再任用に関する経過措置を定めるもの。令和5年4月1日から施行。	
議案第12号	普代村印鑑条例の一部を改正する条例 令和5年1月4日導入予定のコンビニ交付サービス、マイナンバーカードを利用し、コンビニエンスストア等に設置の多機能端末機から、住民票の写しや印鑑登録証明書などの各種証明書を取得可能とするための改正。 令和5年1月4日から施行。	

定例会での質疑

議案第1号

ヨコハマブルーカーボンクレジットの背景を



正路正敏 議員

問 ヨコハマブルーカーボンクレジットについて、今年度中に横浜市との取引は終わるとのこと。洋野町が新たに横浜市と契約したというが、その内容を伺う。

答 佐々木政策推進室長

洋野町の取り組みについては、横浜市ではなくジャパンプルーエコノミー技術研究会ということである。こちらの方と今回洋野町が住友商事と連携して行ったというふうに内容は承知している。

議案第1号

戸籍総合システム改修とは



齊藤正明 議員

問 戸籍情報のほかに、税関係、保険証関係も含めての改修となるものか伺う。

答 道下住民福祉課長

税関係、保険証関係と関連付けるものではなく、個人番号制度のシステム連携において、本籍地への郵送事務などがなくなりシステム連携のみで戸籍事務が完結するための改修委託である。

議案第1号

高齢者施設等への補助は



古沼和也 議員

問 物価高騰対策地域商品券給付事業で、高齢者施設等にも補助的なものはないか伺う。

答 道下住民福祉課長

燃油高騰で年間で300万円以上の影響があると伺っている。施設側とは随時情報共有をさせていただき、3月までには決算状況を見極めた中で検討したい。



物価高騰の煽りを大きく受けるうねとり荘

議案第5号

休養施設事業特別会計予算の電気料の補正の詳細を



松葉明人 議員

問 当初予算は841万8千円。428万円の増額。当初予算から見れば月約170万円ぐらいかかる。どのような予想のもとにこの補正を出しているのか伺う。

答 山崎休養施設管理員

燃料費調整額プラス再生エネルギーの付加金が昨年の令和3年1月では2100円。令和4年4月では合計で19万1000円。10月では38万7000円。1月から上がる部分を昨年の利用実績に料金アップの分を加算。支出見込みが1267万円ほど見込んでおり、差し引きの428万2000円を今回補正したもの。

村政を問う

ページ	議員名	質問内容	ページ	議員名	質問内容
6	おおかみひろし 大上浩史 議員	1. 認定子ども園の安全管理は 2. 物価高騰による村民生活状況は	9	まつばあきひと 松葉明人 議員	1. 村政懇談会の開催時期と時間及び広聴内容は 2. 漁業への庁内強化の考えは 3. 元村地区の公共施設の建設は
7	おおかみ さとし 大上 智 議員	1. スクールコミュニティの稀薄危惧 2. 義務教育学校設置の方向性決定はいつの時点か 3. 具体案、後出し提示の危険性 4. 検討談話会・委員会の設置 5. 今後のスケジュール 6. 義務教育学校設置の意味 7. 新しい教育課程の実現	10	さいとうまさあき 齊藤正明 議員	1. 高齢者世帯の状況、支援事業 2. 広場・公園の遊具等整備
8	さがみちゆき 嵯峨典行 議員	1. ふるさと納税の今後の戦略は 2. ふるさと納税を村民への投資へ 3. 長寿祝い金の支給を	11	もりた こういち 森田幸一 議員	1. 日本海溝・千島海溝での巨大地震津波災害の避難
			12	しょうじまさとし 正路正敏 議員	1. 今後使用されなくなると想定される施設の活用は 2. 村管理の施設を利用した発電設備設置の考えは 3. くらさき荘周辺の特色ある施設造成の考えは

「一般質問」村政を問う

具体案 後出し提示は危険性が多い

義務教育学校でも何ら変わらない
三船教育長

大上 智



スクールコミュニティの稀薄危惧

質問 村の中心部から離れた地域への学校建設により、ますます学校と住民とのコミュニティ性が失われるように感じ、危惧しているが。

答弁 榎屋村長 人口的・公共施設等の集約されている場所の応援の力は、承知しているところであるが、それ以上に、最も大事な安全・安心を確保していくことと、取り組みが、地域との関りを密接にするものと考えている。

義務教育学校設置の方向性決定は、いつの時点

質問 義務教育学校設置の方向性は、いつの時点で、どのようなメンバーで打ち出したものか伺う。

答弁 三船教育長 令和4年2月開催の庁内検討委員会で、小中一貫校から義務教育学校

「一般質問」村政を問う

物価高騰対策を

適時適切な取り組みを行いたい
榎屋村長

大上 浩史



認定子ども園の安全管理は

質問 全国的に保育園子どもが置き去りにされるという痛ましい事故が起きているが、わが村の子どもの安全管理について伺う。

答弁 三船教育長 本村には園児専用の送迎バスはないが、村民バスやスクールバスに乗って登園・降園しており、園児の乗るバスには添乗員が必ず付いている。「バス添乗の際の確認事項」があり、人数確認、小中学校・村民も利用するので、その際の社内での行動、乗車・降車時の安全確認等が記されており、確認事項に沿って行動することとしている。

物価高騰による村民生活状況は

質問 物価高騰は村民も、当然ながらそれによって生活状況は大変なものになっている。

いてみて検討したい。

今後のスケジュール

質問 他県の先行校では、学校設置に向けて地域住民の合意を得るため、複数回の会合・説明会等を行ったようだが、今後のスケジュールは。

答弁 三船教育長 前回のパブリックコメントを見ても、十人十色の意見がある。村でしっかりとした理念を作って、住民の皆様からも理解をいただいで推進したい。

義務教育学校設置の意味

質問 義務教育学校は、活用した、学校教育制度の多様化及び弾力化の推進のための学校と理解してよろしいか。

答弁 三船教育長 より柔軟に弾力化されるものと思っている。新しく不確実なものとして遠ざけることなく、未来志向で取り組みたい。

新しい教育課程の実現

質問 義務教育学校に認められる特例を活用して、どのような学校を実現するつもりか。

答弁 三船教育長 学校の教育課程をつくるのは学校長であり、教育委員会は、それを執行管理するポジションである。特例の活用等については、これからの学校との協議・検討になる。
※義務教育学校とは、初等教育（小学校）と中等教育（中学校）までの義務教育を一貫して行う学校で、学校教育法の改正により2016年に新設された学校教育制度です。

定例会概要

議案質疑

一般質問

その他・臨時会

定例会概要

議案質疑

一般質問

その他・臨時会



園児の登園・降園にも利用されるスクールバス・村民バス



維持していくための戦略は

ファンベースという考え方で取り組む

証屋村長

嵯峨典行

ふるさと納税の今後の戦略は

質問 平成27年、約700万円からスタートしたふるさと納税は右肩上がりに上昇し、令和3年度には約3億2千万円、今年度11月21日現在で約3億7千万円となり、年度末には約4億円になるのではないかと思われる。今後3億円〜4億円を維持していくため、村としてどういった戦略を考えているのか伺う。

答弁 証屋村長 現在の寄付額を維持していくための戦略として「ファンベース」という考え方で取り組んでいる。ファンを大切に、ファンをベースにして、中長期的に売り上げや事業価値を高める考え方であり、クレームを含めた丁寧な電話対応・商品発送前のメール連絡等、ふだいファンを大切に、リピーターの確保及びリピート率の向上に継続的に取り組んでいきたい。



返礼品を発送している株式会社青の国ふだい

ふるさと納税を村民への投資へ

質問 村の人口は10月末現在において2451名と減少の一途をたどっている。今後問題となっている出生数の減少に歯止めをかけるため、現在支給している育児祝い金を

増額してはと思うが考えを伺う。

答弁 証屋村長 先般の定例議会において新年度より第1子15万円増、第2子は10万円増とし、育児祝い金を第3子以降と一律同額の30万円とするようお話しさせていただきました。引き続きそう

いった考えのもとで取り組んでいきたい。

長寿祝い金の支給を

質問 現在70歳以上の人口の34%にあたる841名と聞いている。今、村に居住している70歳以上の方々は村に住所を置き、出稼ぎに行ったり定年になり戻ってこられた方、村を離れずに地元で様々な仕事をしながら住んでいる方、この方々のおかげで当時は急激な人口減少にならなかったと思われる。村の人口維持に貢献された高齢者の方々に感謝として80歳・90歳の誕生日に長寿祝い金を支給できないものか伺う。

答弁 証屋村長 現在、百寿祝い金として5万円の贈呈をさせていた。近隣市町村の状況を確認したところ、百寿のほかに米寿の祝い金を贈呈している。本村でも新年度から米寿祝い金を新設したい。



松葉明人

漁業への庁内強化の考えは

人材募集については考えたい

証屋村長

村政懇談会の開催時期と時間及び広聴内容は

質問 村政懇談会の開催時期と時間及び広聴内容や、結果の周知について伺う。

答弁 証屋村長 ①開催時期を早める考えはないか。②12会場とも1時間の予定で組んであるが質疑応答時間などは十分なのか。③村民の皆様からの広聴内容や実施実績の周知はどのようにしているのか。以上3点を伺う。

答弁 証屋村長 ①村政懇談会の開催の有無や日時内容など、基本的に行政連絡員の要望や意向を聞いて考える。②行政連絡員を通じてお話しただけだと思ふ。③4月の行政連絡員会議で報告、前年度の実績報告は会場にいらした方に配布する。

漁業への庁内強化の考えは

質問 基幹産業である漁業への庁内強化の考えは。

答弁 証屋村長 専従職員については、養殖事業一つとっても多種多様のため難しいと考える。

質問 専従では無理でも、地域おこし協力隊の募集を漁業に精通した人にするなど、兼務でもぜひとも配置していただきたい。村からいろいろの提言や、実験的なことを試しては、学校が新設されると、現小中学校校舎の有効活用

元村地区の公共施設の建設は

質問 今後建て替えるのが予想される公共施設の整備の考えを村長と教育長に伺う。

答弁 証屋村長 防災拠点の一部改修の時期が近いと感じる。



村の主たる産業の漁業。様々な面から支援が必要



補強されながら使用される予定の管理センター・社会体育館

質問 三船教育長 社会体育館・子ども園・管理センターは補強しながら使用。図書室や生涯学習施設は今後予定される校舎建設と併せて考える。

質問 三船教育長 学校建設により多目的グラウンドが使用できなくなった場合の対策は。

答弁 三船教育長 私的考えと前置きして、村民グラウンドの活用や中学校グラウンドの再利用を考えている。



齊藤 正明

対高齢者の地域包括的体制必要

地域包括ケアシステムの深化実現で 証屋村長

高齢者世帯の状況、支援事業

質問 高齢者世帯の状況は。

答弁 証屋村長 令和2年9月30日現在、403世帯で、総世帯に対する割合は、36%となっている。平成30年の^{*}社人研の将来人口推計によると、本村の高齢者人口は、令和7年の1088人をピークに緩やかに減少し、令和22年には908人となり、その時点の高齢化率は、令和4年の41.9%より16.8%上昇し、58.7%となると公表されている。

※社人研とは国立社会保障・人口問題研究所の略称です。

質問 実施している支援事業、独居高齢者への取り組み、災害時の要支援者の支援体制は。

答弁 証屋村長 地域包括支援センターを村の直営化とし、一層の地域包括ケアシステム

の深化実現に向け地域ケア会議等を重ね、高齢者を支える介護予防のための健康教室、ふれあいサロン等の機能強化・充実に取り組む。また、生活支援として配食、買い物サービス、タクシー助成券の交付等、自らが健康状態を意識し、主体的に介護予防に取り組む環境づくりに取り組んでおり、今後においても、課題分析・明確化を図り政策形成にもつなげてまいりたい。また、災害時の要支援者の支援体制については、3月末までには名簿を完成させ、消防等避難支援関係者に情報提供し、実効性が高まるよう取り組みを進める。

広場・公園の遊具等整備

質問 子育てを含めて、不特定多数の人が利用する、広場・公園の遊具等も備えた環境整備が必要と思うが。

答弁 証屋村長 今の時代における

の必要性は理解している。各地区設置か集約設置か、地域の子供の人数、観光的ニーズを踏まえたものか、安全が確保された遊具の内容、地区管理問題等、検討



幅広い世代の交流の場には遊具の設置も必要

を深める必要がある、具体的なことを地区なり、担当課である政策推進室で相談しながら取り組めればと思っている。



森田 幸一

どのように村民の命を守り救うのか

迅速な避難を 証屋村長

日本海溝・千島海溝での巨大地震津波災害の避難

質問 国の日本海溝・千島海溝などでの巨大地震津波の発生想定が岩手県沖にも示された。それによると、津波の第1波は地震から約20分〜30数分で到達すると予想。普代村の指定緊急避難場所、指定避難場所は現在9カ所との発表で、浸水想定も5.05m〜3.01mとなっている。また県は最大クラスの津波被害想定を踏まえた、沿岸12市町村との減災対策などを検討する組織を立ち上げ、検討・協議を行った。村避難計画、避難場所などを決め、どのようにして村民の命を守り救うのか、村の避難場所であるB&G付近に移転するお考えである義務教育学校に避難場所の機能も想定するのか伺う。

被災の重要施設は12施設が被災、避難者数は1日後の避難場所の内外合わせて、1200人となっている。なお、この被害想定調査報告書では、犠牲者ゼロにするため、減災への基本的方向や課題についても示している。本村では、自助・共助・公助を組み合わせて、犠牲者を絶対に出さないよう、発災直後からの迅速な避難に取り組んでいく。

どのよう村民の命を救うのかということだが、避難意識の向上、避難開始時間の短縮、自助努力の浸透・定着。加えて、避難路の整備や要配慮者などの迅速な避難に資する取り組みの検討をしていく。

質問 1200余人の人たちがB&Gへ実際の避難を想定した訓練をしていただきたい。近々行われる予定はないのか伺う。

答弁 証屋村長 本村の日本海溝モデルの被害の内容は、全壊建物670棟、犠牲者は直後避難が54%で60人、防



避難場所に指定されているB&G海洋センター



義務教育学校建設が検討されている多目的グラウンド。災害時には避難場所にもなる

災上の重要施設は12施設が被災、避難者数は1日後の避難場所の内外合わせて、1200人となっている。なお、この被害想定調査報告書では、犠牲者ゼロにするため、減災への基本的方向や課題についても示している。本村では、自助・共助・公助を組み合わせて、犠牲者を絶対に出さないよう、発災直後からの迅速な避難に取り組んでいく。

どのよう村民の命を救うのかということだが、避難意識の向上、避難開始時間の短縮、自助努力の浸透・定着。加えて、避難路の整備や要配慮者などの迅速な避難に資する取り組みの検討をしていく。

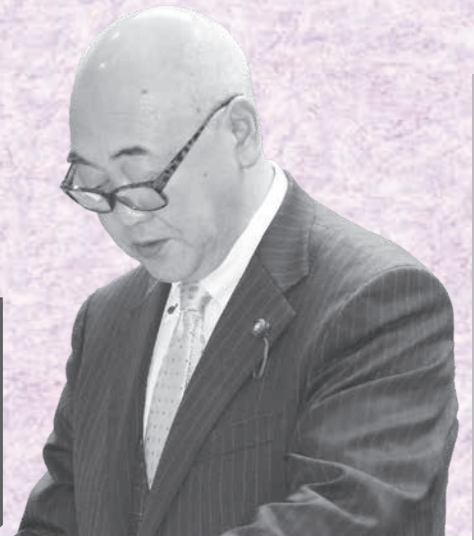
答弁 証屋村長 避難訓練の重要性、近々の必要性もいつたことで早く実施できるように取り組んでいく。

くろさき荘周辺の 施設造成の考えは

課題も出てくると思う

―― 榎屋村長

正路正敏



質問 今後使用されなくなると想定される施設の活用は

現在旧鳥茂渡小学校、将来普代小学校・普代中学校が廃校になるものと思われる施設を改築等する場合、国庫補助が適用になるのか。また、村が事業主体となり貸し出しすることは可能か村長の考えを伺う。

答弁

榎屋村長 廃校となるなどの村の施設の改築等への国庫補助の活用も可能と考えられる。村が事業主体と



現時点では活用がなされている旧鳥茂渡小学校

質問 村管理の施設を利用した発電設備設置の考えは

ゼロカーボンを目指すし、再生可能エネルギーの大規模な建設が進んでいる。村としてもそのような考えはあるか。また各地区に活動拠点施設等整備がなされた施設を利用した中で小電力発電は考えられないか伺う。

答弁

榎屋村長 「普代村メガソー

なった貸し付けについては、運営の指定管理などは可能と考えている。

定例会概要

議案質疑

一般質問

その他・臨時会

議会の動き

(10月臨時会～12月定例会 諸報告より)

月 日	場 所	事 項	出 席 者
9月13～15日	役 場	村議会第7回定例会	各議員
15日	役 場	議会運営委員会	各委員
18日	久 慈 市	税田英敏氏黄綬褒章受章祝賀会	議長
22日	盛 岡 市	県町村議会議長会 臨時総会、第2回政務調査会	議長
25日	村 内	普代村総合防災訓練	議長
28日	役 場	自由民主党若手県支部連合会「市町村重点要望調査」	議長
10月2日	村 内	陸中黒崎灯台設置75周年記念行事「合同塗装」	議長
4～7日	広島・岡山・兵庫 県、大阪府	普代村議会議員視察研修	議長・副議長、金子・大上浩史・大上智・古沼・松葉・森田議員
8日	岩 泉 町	国道340号宮古岩泉間整備促進住民総決起大会	議長
11日	久 慈 市	久慈広域連合議会議員全員協議会	大上智・森田議員
12日	役 場	議会運営委員会、村議会第8回臨時会、議員全員協議会	各委員、各議員
17～19日	三 重 県	東部町村議会議長会先進地視察	議長、副議長
21日	盛 岡 市	県町村議会議長会第8回委員長研修会	古沼・大上智常任委員長
25日	久 慈 市	第11回久慈広域連合議会定例会	大上智・森田議員
28日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
30日	東 京 都	ふるさと普代会役員等との食事会	議長
11月2日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
5日	管理センター	第39回普代村交通安全ポスターコンクール表彰式、中学生の「税についての作文」表彰式	議長
6日	社会体育館ほか	普代村文化祭	議長
8～9日	東 京 都	県町村議会議長会第3回政務調査会・研修会、第66回町村議会議長全国大会	議長、副議長
16日	久 慈 市	「いわて県民計画(2019～2028)」第2期アクションプラン(素案)に係る地域説明会	副議長、松葉議員
20日	くろさき荘	矢巾町との物産文化交流	議長・副議長、嵯峨・金子・大上智・古沼・松葉議員
21～22日	花 巻 市	町村議会広報担当者研修会	大上智・古沼委員
22日	盛 岡 市	若手県後期高齢者医療広域連合議会議員研修会、全員協議会、11月定例会	松葉議員
29日	野 田 村	久慈地区市町村議会連絡協議会研修会	議長・副議長、嵯峨・金子・大上浩史・大上智・松葉・森田・齊藤議員
30日	役 場	議会運営委員会、村議会第9回臨時会、議員全員協議会	各委員、各議員
12月8日	役 場	議会運営委員会、議員全員協議会	各委員、各議員

質問 くろさき荘周辺の特色ある施設造成の考えは

くろさき荘周辺に人を少しでも呼び込むために特色あるものが必要ではないか、今は季節に関係なくキャンピング

答弁

榎屋村長 黒崎園地あるいはキラウミ公園もなるか、ロケーションはまさにグランピングにふさわしく、人気も高くなることは確かと思うが、一方で具体的な整備とか運営となれば、課題も出てくるかという可能性はあるのかといったことの、勉強も行ってきたい。



くろさき荘周辺はロケーションも素晴らしい

※グランピングとはグラマラス(豪華な)とキャンピングを組み合わせた言葉です。

定例会概要

議案質疑

一般質問

その他・臨時会

11/30 第9回臨時会

審議した案件は、令和4年度一般会計補正予算、令和4年度国民健康保険診療施設・同簡易水道・同漁業集落排水事業特別会計補正予算のほか、普代村議会議員の議員報酬等に関する条例など、8議案を全員賛成で原案可決しました。

主な内容は次のとおりです。

▽令和4年度一般会計補正予算（第7号）

補正額506万8千円を増額し、総額40億2179万6千円としました。

歳入では、子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金105万円、ふるさと応援基金繰入金120万6000円を増額など。

歳出では、子育て世帯生活支援特別給付金事業で105万円、出産・子育て応援交付金事業96万3000円、高齢者活動施設備品購入費71万5000円それぞれ増額したほか、野球場屋外照明設備老朽化対策修繕のための49万2000円を増額など。

出産・子育て応援交付金事業は、妊娠届出時と出生届出時に5万円ずつの経済支援を行うもの。高齢者活動施設備品購入費は暖房器具老朽化等により更新するもの。

▽議案第5号 普代村議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

▽議案第6号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

▽議案第7号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

▽議案第8号 普代村会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

上記の議案第5号から第8号は、普代村議会議員・特別職の職員・一般職の職員・会計年度任用職員の報酬及び給与に関する条例の一部を改正（現行より増額）する条例です。

▽沢漁港漁村再生交付金（北防波堤他）工事の変更契約に関する専決処分

設計内容の一部変更に伴う増額により、契約金額1億2002万4300円を2万4200円増額しました。変更後の金額は1億2004万8500円となるものです。地元からの要望により、沢漁港北防波堤から撤去した消波ブロックの移設先を変更。

11/29 久慈地区市町村議会連絡協議会研修会

11月29日は野田村の国民宿舎えぼし荘で久慈地区市町村議会連絡協議会研修会が行われ、「県北沿岸地域の振興～第2期地域振興プランの策定に向けて～」について、講師の岩手県北広域振興局長・坊良英樹氏より講演をいただきました。



10/12 第8回臨時会

審議した案件は、令和4年度一般会計補正予算で、全員賛成により原案可決しました。主な内容は次のとおりです。

▽令和4年度一般会計補正予算（第6号）

補正額2億4294万6千円を増額し、総額40億1672万8千円としました。

歳入では、ふるさと応援寄付金を1億円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金2380万8000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1905万3000円を増額など。

歳出では、ふるさと応援基金積立金を1億円、三陸鉄道運行支援交付金を517万3000円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金2380万9000円、新型コロナウイルス感染症対応生活困窮者冬季特別対策事業236万8000円をそれぞれ増額したほか、ふるさと納税を活用した地域産業促進事業6330万4000円を増額など。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金は電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金として、非課税世帯・家計急変世帯へ1世帯あたり5万円を給付するもの。

新型コロナウイルス感染症対応生活困窮者冬季特別対策事業は灯油・電気・ガス等購入費の一部を助成する事業で、現年度の住民税が非課税世帯であり、高齢者世帯・障害者世帯・ひとり親世帯・要介護世帯・生活保護世帯のいずれかに該当する世帯へ1世帯あたり1万円を助成するもの。



V O I C E 未来予想図 Fudai



一人暮らし用の集合住宅を!

こまつ せい
小松 聖さん(19)

10月に大阪から移住してきました。同じことの繰り返し
の都会とは違い、海・山・街中の表情、人の表情が
日々・刻々と変化し、変化に気づく余裕がある普代が
大好きです。人と話すこと、小説を読む・書くことが好き
で、それも活かして普代村に明るい交流の場を作るため
に奮闘しています。年代や生まれ育ちが違う人たちがお
互いにいい影響を与え合える場にしていきたいと思っ
ています。

利便性を高めて人口を増やし、普代をもっと盛り上げ
るためにも、一人暮らし用の集合住宅は切実に必要だ
と思います。移住者もですが、役場や教育機関にお勧め
で村外から通勤している方のためにもぜひご検討を! 😊



荒磯太鼓頑張ってます!

あべ まこ
阿部 真子さん(29)

村外から来た私を温かく受け入れてくれ、優しく思いや
りがあり、村に愛着を持っている人がたくさんいる普代村が好
きです。子どもと過ごすことと畑仕事と一人旅が好きで、現
在は荒磯太鼓の稽古にも励んでいます。

空き地や空き家、耕作放棄地を有効活用して、大人も子
どもも集まれる場が欲しいです。豊かな自然環境や伝統芸能を
活かし、自然と共生した持続可能な循環する村、子ども達の
賑やかな声で溢れる村にしたい。そのための力になりたいです。

普代村に来て1年弱ですが、豊かな自然環境の中、村の人
の温かさに触れ、普代村が大好きになりました。これからも
普代村がもっと活性化するように努めていきたいと思いま
すのでよろしくお祈りします! 😊



松葉明人広報副委員長

普代に来て4カ月、寒さにはなれましたか?ミズキ飾り
や映画上映など、その行動力は頼もしいです。明るい交流
の場ができること楽しみに期待しています。

「一人暮らし用の集合住宅の検討を!」とのこと。自身
のみならずほかの方々のことも考えてのご提案ありがと
うございます。空き家バンクなども含めて検討いたします。

3月には養殖わかめの収穫が始まります。深夜3時ころ
の海は作業灯で明るく輝きます。また、水平線から昇る朝
日は最高です。ぜひ見てください。

広報委員からの返信



古沼和也広報委員

普代村へようこそ。

空き地や空き家、耕作放棄地を有効活用したいと
のことですが、私も同じ考えです。空き地、空き家
の情報が入りましたら、情報提供していきたいと思
います。

阿部さんの荒磯太鼓の演舞を見られる日を楽しみ
にしています。大変なこともたくさんあると思いま
すが、日々の稽古頑張ってください。

これからの阿部さんの活躍を期待しております!

議 長	中村 裕
副 議 長	嵯峨 典行
委 員 長	松葉 明人
副 委 員 長	古沼 和也
議 會 広 報 常 任 委 員 會	
發 行 責 任 者	



齊藤 正明	森田 幸一	松葉 明人	古沼 和也	大上 智	大上 浩史	金子 泰男	嵯峨 典行	正路 正敏	中村 裕
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------

謹んで新春の
お喜びを申し上げ
ます
本年が普代村にと
つて
実り多き年とな
りますように
ご祈念いたします

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

